2023　年度　授業計画（シラバス）

学　　科	柔道整復スポーツ学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・各論Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎301
担 当 教 員	林　了大	実務経験とその関連資格	接骨院の院長（柔道整復師）として、1999年～2014年勤務経験あり。 公益法人兵庫県柔道整復師会　阪神南支部の役員を2008年～2014年まで務めた。		

《授業科目における学習内容》

各関節の解剖学的構造を理解した後に、各関節の脱臼発生についてを学びます。

《成績評価の方法と基準》

期末試験評価：100％

《使用教材（教科書）及び参考図書》

柔道整復学理論編　改訂第7版（南江堂）
柔道整復学実技編　改訂第2版（南江堂）
パソコン（パワーポイント・スピーカー）、各種計測機器など
【参考図書】グレイ解剖学，身体運動の機能解剖，標準整形外科

《授業外における学習方法》

柔道整復理論の教科書をベースにして、実技編および解剖学の教科書も参考にしながら、人体の構造を理解すると同時に脱臼のメカニズムを学習する。また各種動画等による受傷場面の確認も有用である。次回講義までの課題がある場合もある。

《履修に当たっての留意点》

柔道整復師の業務範囲である脱臼の整復において発生頻度が高く、また臨床現場でも遭遇する機会の多い範囲です。解剖学的構造をしっかり理解することから始め、整復から固定までを理解しましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部・体幹の解剖学構造を理解する	柔道整復学（理論編）改訂第7版（南江堂） 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	頭頚部、体幹部の解剖学的構造		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部・顔面部の骨折について理解する	柔道整復学（理論編）改訂第7版（南江堂） 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	頭部、顔面部骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸椎の骨折について理解する(1)	柔道整復学（理論編）改訂第7版（南江堂） 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	頚椎の骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸椎の骨折について理解する(2)	柔道整復学（理論編）改訂第7版（南江堂） 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	頚椎の骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸椎の骨折について理解する	柔道整復学（理論編）改訂第7版（南江堂） 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	胸椎の骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	腰椎の骨折について理解する	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	腰椎の骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸部の骨折について理解する(1)	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	胸部の骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸部の骨折について理解する(2)	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	胸椎の骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	顎関節脱臼について理解する	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	顎関節脱臼についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	頸椎脱臼について理解する	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	頚椎脱臼についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸腰椎の脱臼について理解する	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	胸腰椎の脱臼についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	鎖骨の脱臼について理解する	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	鎖骨部の脱臼についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼について理解する(1)	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	肩関節脱臼についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼について理解する(2)	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	肩関節脱臼についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	柔道整復学(理論編)改訂第7版(南江堂) 配布資料	履修した項目については、解剖学的な位置関係を含めて、必ず復習が必要となる。
		各コマにおける授業予定	後期講義のまとめを行い再復習し各脱臼を理解する。		